



## お楽しみはこれからだ

### 第2回 吉田桃子



絵・剣持晶子

〈前号のあらすじ〉

純喫茶「けやき」の裏に住んでいる小六のユナ。夏休みなのに、母親がバイトをしているためどこにも出かけられない。暇を持てあまし「あかずの間」を開けたりして過ごしていたが、クラスメートの文香に誘われ、家まで宿題をしに行くことに。その帰り道、忘れ物を届けに来た文香の父親を見て、ユナの母親が驚く。なんと文香の父親は、ユナの母親の別れた夫。つまりユナの父親だったのだ。

今日もせっせと夏休みの宿題をやっていると、部屋に誰かが飛び込んできた。

「ユナちゃん、来たーたーよー！」

まるで鈴が鳴るようにかわいいその声の持ち主は……、

「あー、真菜ちゃん。もう着いたんだ」

私が言うと、真菜ちゃんは、「うん。新幹線でびゅーん